

関係各位	平成 25 年 12 月 10 日
道路橋等の設計，施工，維持管理に当たって参考となる知見について (番号 13BR010)	
以下の事項については，道路橋等に係わる技術基準の適用に当たって参考となるもの と考えられるので，お知らせいたします。	
<p style="text-align: center;">鋼道路橋塗装・防食便覧における塗装系の塗装間隔について</p> <p>鋼道路橋塗装・防食便覧（(社)日本道路協会，平成 17 年 12 月）で示す各塗装系 における塗装間隔は，付着性を良くし良好な塗膜を得るため，適切な環境に置かれた 場合に特別な措置なく適切に塗り重ねできる標準的な仕様として示されております。</p> <p>塗装間隔が短いと下層の未乾燥塗膜は，塗り重ねた塗料の溶剤によって膨潤してし わを生じやすくなります。また，塗料の乾燥が不十分のうちに次層の塗料を塗り重ね ると，下層の塗膜の乾燥が阻害されたり，下層塗膜中の溶剤の蒸発によって上層塗膜 に泡やふくれが生じることがあります。一方，塗装間隔が長いと下層塗膜の乾燥硬化 が進み，上に塗り重ねる塗料との密着性が低下し，後日塗膜間で層間はく離が生じや すくなります。</p> <p>やむを得ず塗装間隔が本便覧で示す塗装間隔を超える場合には，付着物を水洗いや シンナーふきで除去した後，サンドペーパーで面あらしをして表面を活性化してから 塗り重ねたり，硬化した塗膜との付着が良好な塗料を一層増し塗りするなどが考えら れますが，普遍的に示すことができる方法が確立されているわけではないため，本便 覧には示されておりません。付着性を良くし良好な塗膜が得られる方法については， 条件に照らして個別に検討する必要があります。</p>	
関連する参考の番号	—
本参考の提供に伴い 廃止する参考の番号	—
参考 送付先	—
作成者	国土技術政策総合研究所道路構造物管理研究室 <nil-bridged@ml.mlit.go.jp> 土木研究所構造物メンテナンス研究センター <caesar@pwri.go.jp>
*留意事項：ここに記載の事項の適用は，事業毎に発注者の承諾によるべきものです。また，ここに記 載の事項に関する問い合わせは，道路管理者からの技術相談にて対応することを基本といたします。	